

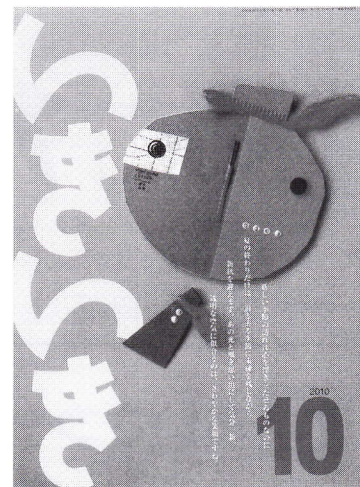
じょうもん市と「縄文の食」

振興会事務局 田村 均

全国誌「いきいき」は、笹山縄文どんぐりクラブ主宰者の田村シゲさんを紹介しました。



『夫と一緒に大切にしてきた縄文や十日町の文化を料理にあらわし大切に引き継いでいきたい』気の合った仲間と中学生ボランティアとの交流などを通じて「いきいき」としていただきたいと思います。



注目された草木染



上町の岩田重信さんは、昭和50年頃から、中条の野山に自生している植物で絹を染め始めました。しかし染めた後、媒染をしないと色は出ません。そこで中条駅裏の田んぼが鉄分を多く含んで居ることに目を付け、それで媒染を試みました。案の定いい色が出たそうです。今では蓬、宵待草など採取して染めています。昨年は写真集も出版され、幅広く活躍しておられます。因に麻でもつるでも草の煮汁に漬けて置けば綺麗な色は出ませんが何かしら色が付きます。縄文の時代も衣類に利用したのではないかと話しておられます。

中条体協よりご挨拶

中条体協事務局長 田村 茂 樹

日頃より地区の行事に参加、協力頂きまして心より感謝申し上げます。7月17日に行われる体育祭は第50回の記念大会となります。体協も気合いを入れて運営にあたります。

恒例となっているソフトボール、バレーボールの各大会とゴルフコンペにつきましても各町内の役員さんと細かい打ち合わせを行って、なるべく全町内が参加出来る日程で組みたいと思っています。皆でスポーツに親しみながら中条を盛り上げていきましょう。